

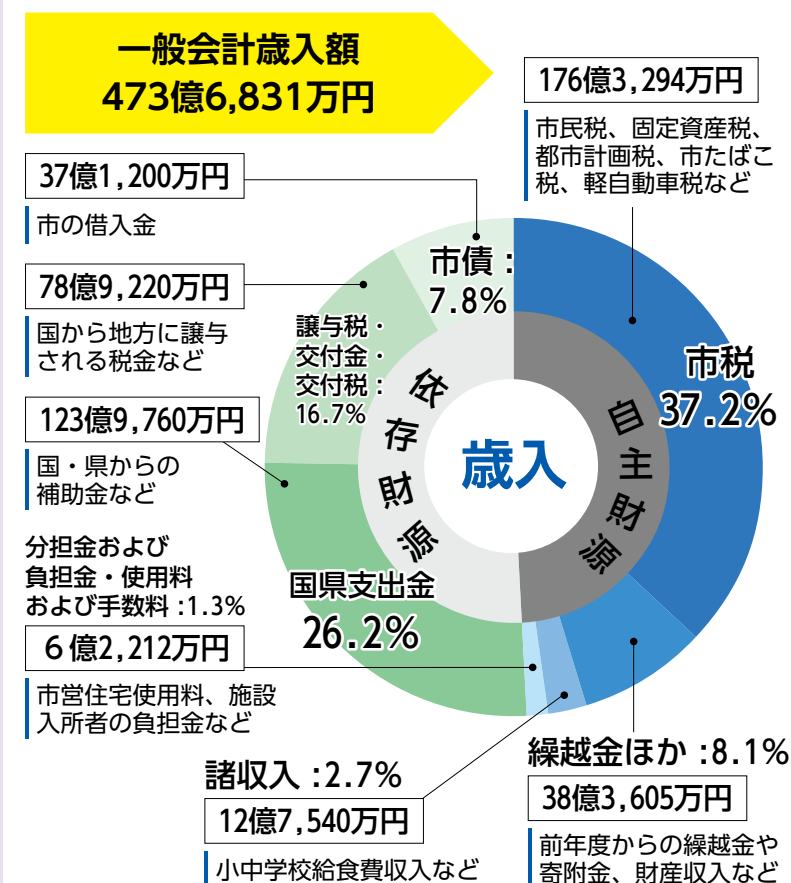
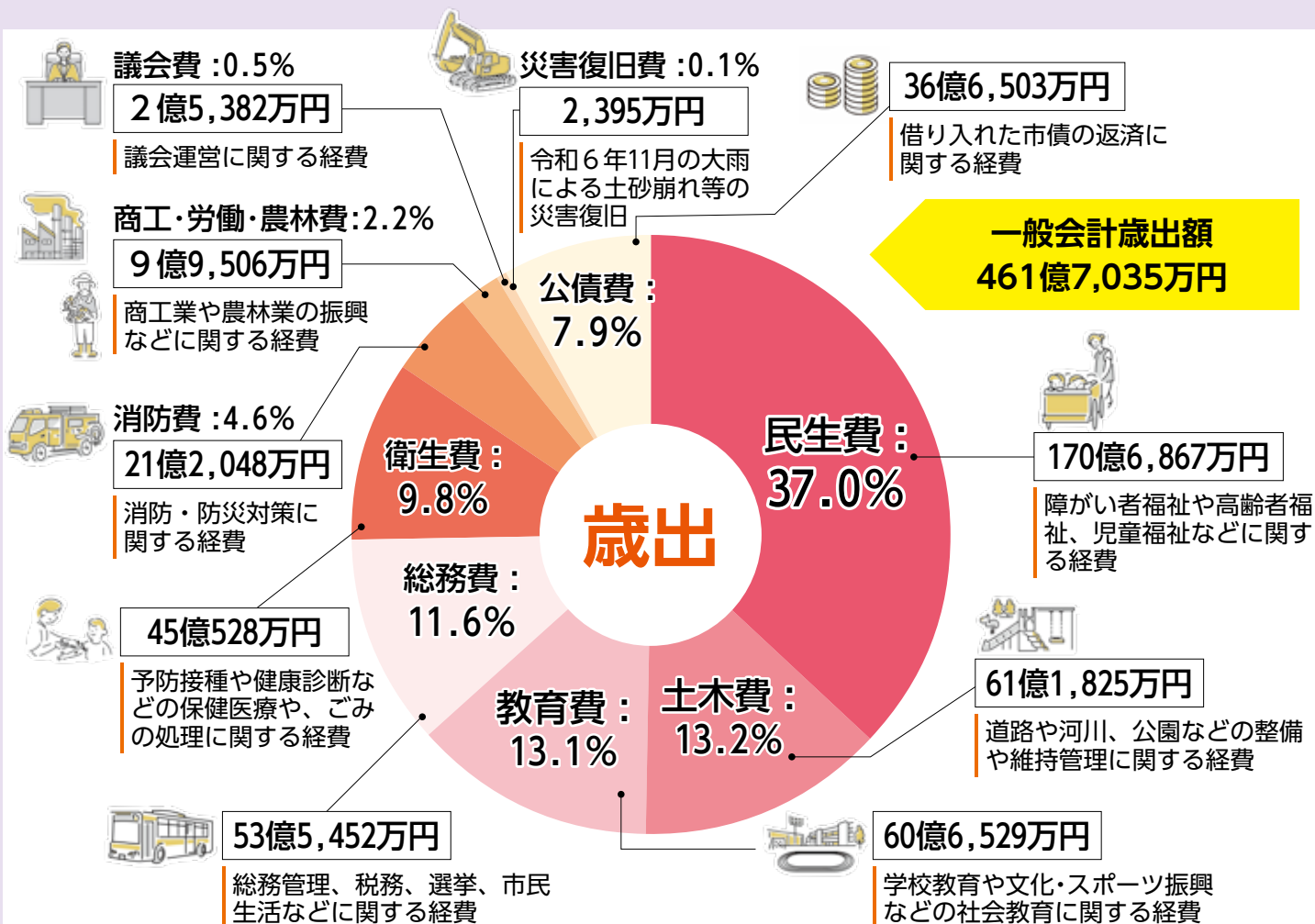
市議会だより



「冬の入り口」(撮影地:楽寿園) 撮影者:吉村正

CONTENTS

令和6年度決算審査	2
9月定例会 議案審議の概要	6
市政に対する一般質問	8
先進地に学ぶ 視察報告	14
議会報告会のご案内	16



※金額については調整した万円単位で表記しています。
 ※市ホームページ及び広報みしま12月号にも詳細が掲載されますので、併せてご覧ください。

各種会計決算額

○一般会計

収入	支出
473億6,831万円	461億7,035万円

○特別会計

会計	収入	支出
国民健康保険	105億1,643万円	104億452万円
介護保険	101億2,668万円	94億1,040万円
後期高齢者医療	19億4,150万円	18億3,394万円
墓園事業	1,341万円	824万円
駐車場事業	4億4,536万円	4億2,120万円
合計	230億4,338万円	220億7,830万円

○公営企業会計(水道事業)

区分	収入	支出
収益的収支	15億94万円	13億9,200万円
資本的収支	2億8,146万円	11億3,213万円

○公営企業会計(下水道事業)

区分	収入	支出
収益的収支	24億5,098万円	22億3,250万円
資本的収支	14億2,199万円	19億7,700万円

令和6年度

決算審査

9月定例会では、市長から提出された令和6年度決算に関する10件の議案の審査を行いました。

決算審査では、前年度の予算の使い方が適切であったか、事業の成果が上がったかなどを議会で審査し、決算の認定についての可否を決定します。

9月5日に開会された本会議にて、令和6年度決算議案の審査を予算決算委員会へ付託し、総務、福祉教育、経済建設の各分科会で2日間ずつ質疑等を行いました。

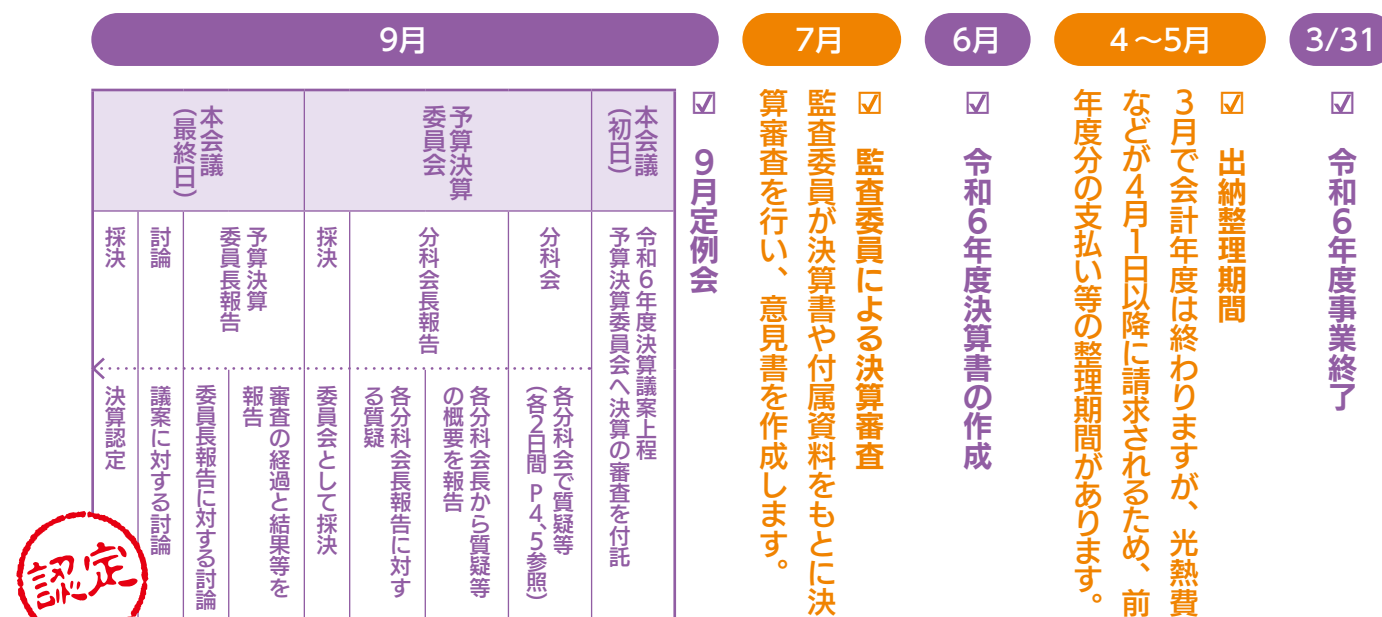
9月30日に予算決算委員会が開会され、各分科会長から質疑等の概要について報告を受けた後、採決し、委員会として付託されたすべての議案について認定または可決すべきものと決定しました。

9月定例会最終日の10月2日には、予算決算委員長が委員会での審査結果を報告し、賛成・反対の討論を行ったあと採決を行いました。その結果、賛成多数または全会一致で令和6年度の各会計決算を認定または議案を可決しました。

本会議の様子は市議会ホームページに映像がありますので、ぜひご覧ください。



令和6年度の決算が認定されるまで



各会計の決算はこちら

市の会計について

市の会計は、お金の出し入れや事業の状況を分かりやすくするために、一般会計、特別会計、公営企業会計の大きく3つに分かれます。

一般会計

民生費、教育費、議会費など、市の基本的な事業の経費をまとめた市の中心的な会計

特別会計

国民健康保険、介護保険など、特定の収入を使い特定の事業を行う場合に経理を明確にするため、一般会計とは別につくる会計

公営企業会計

水道事業、下水道事業のように事業を行うことで得られる収入(利用料金など)で経費をまかなう会計

経済建設分科会

9月10・11日

サテライトオフィス進出事業費補助金の申請等

Q 市ホームページ上、対象業種が不明瞭であることから、本来対象となる企業が申請を諦めている可能性があるか。

A 市への相談または訪問の際、企業には個別に対応しているため、漏れはなく案内ができていると考えている。

Q 3年間の補助期間終了後に市外へ移転してしまう事例があると聞いたが、対策は検討したか。

A これまで開業から1～2年で移転したものも含め、8社が市外へ移転した事実がある。3年の補助対象期間経過後の返還規定は設けていないが、補助要件等を検討していきたい。

まちなかにぎわい創出支援業務委託についての実績

Q 業務内容 及び スモールスタート事業として実施された5件の内訳はなにか。また、継続的な事業につながったという実績はあるか。

A スモールスタート事業の事業者の選定審査や各事業のフォローアップ等を実施した。5件については、御殿川・鎌倉古道活用プロジェクト、三島ものづくり文化祭のスタンプラリー事業、新時代の移動スタイルを楽しむキッチンカー開業体験、ピククルボール試打・体験会、三島ナイトマーケットである。

スモールスタート事業が自走化され継続している例としてロゲイニングの取り組みがある。

総務分科会

9月17・18日

スマート市役所推進事業の事業効果

Q スマート市役所推進事業において、デジタル技術を活用しさまざまな施策を実施しているが、市民サービスの向上、働き方改革、業務効率の点で、数値的な結果として示せるものがあるか。

A 令和6年度の市民課の異動受付支援システムの利用件数は9,577件であった。転入、転出、転居といった届出の手書きを無くしたことで1件につき滞在時間を8分短縮できたと想定すると、市民が手続きに要する時間を合計1,276時間削減できたと考える。

また、市ホームページでの手続き案内サービスの開始により市民が知りたい情報について電話を掛けなくて済んだ回数は1,650回、RPAの稼働により庁内業務の効率化を図り、615時間の職員の労働時間削減につながった。

公共施設包括管理業務委託の実施状況

Q 保守点検等業務や緊急修繕業務等を管理する公共施設包括管理業務委託の実績と保守点検等業務の市内業者の活用はどのような状況か。また、保守点検の結果や修繕履歴について、情報共有がされているか。

A 令和6年度の緊急修繕業務の件数としては、受託者自ら行う軽微な修繕と内製化修繕がそれぞれ824件と404件、外部に発注した修繕が831件であり、計2,059件であった。保守点検等業務の市内業者の活用状況については、包括管理業務委託導入前に比べ増加している。

また、包括管理業務のシステムを使用することで、受託者、公共財産保全課、施設所管課で各施設の状況を共有している。修繕履歴については、発生個所や原因などが蓄積されることで、将来的にどのように修繕していくかを把握し、予防的に部品交換を行うなどの対応も可能となっている。

三島市長へ令和8年度予算編成に向けての意見・要望を提出しました

令和6年度決算審査として、予算決算委員会の各分科会で詳細な質疑を行いました。その審査等を踏まえ、市議会として令和8年度予算編成に向けての意見・要望事項を市長に提出しました。



詳細はこちらからご覧いただけます。

総務分科会

・スマート市役所推進事業

デジタル技術を活用し、より便利で質の高い市民サービスの提供および職員の業務効率化

福祉教育分科会

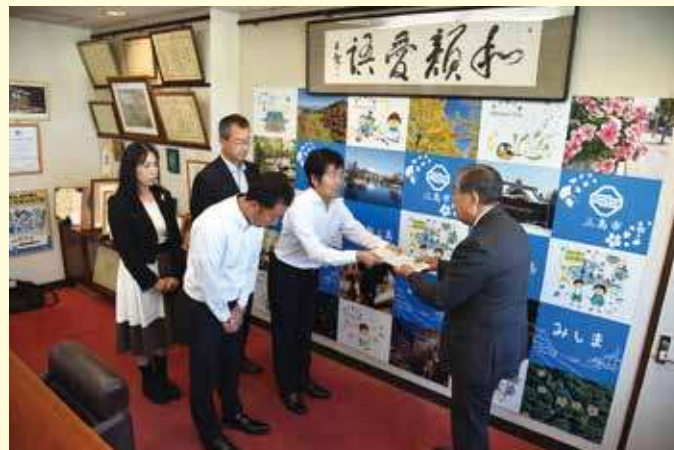
・各中学校施設補修整備事業

中学校体育館への計画的な空調設備の設置

経済建設分科会

・サテライトオフィス進出事業費補助金

関係機関への周知徹底と制度の見直し



福祉教育分科会

9月12・16日

体育館への空調設備設置の調査結果

Q 中学校における空調設備設置可能性調査業務委託の調査結果は。

A 特別教室や体育館などにエアコンを設置するための概算費用としてライフサイクルコストを、体育館については災害対応用などパターン別に算出した。熱源については、電気よりガスがコスト的に優位であった。また、体育館の断熱性確保工事についてパターン別に検討したところ、屋根面の遮熱塗装が効果的であるとされたほか、ガラス面へのフィルムの貼付けも安価ながら大きな効果が得られるとの結果であった。

健幸アプリ「KENPOS」(ケンポス)の利用状況

Q 健幸アプリ「KENPOS」の利用状況及び課題は。

A 利用者は4,161人で、前年度から770人増加している。そのうち月に1回以上アプリを開いているアクティブユーザーは約45%となっている。登録者は40代から60代が多いが、ポイント交換など実際に利用しているのは70代から90代が多くなっていることから、若年層の継続利用を促し、運動習慣化につなげていくことが課題である。

9月定例会 議決結果

<全会一致となった議案>

議案番号	件名	結果
認第5号	令和6年度三島市墓園事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認第7号	令和6年度三島市水道事業会計決算認定について	認定
議第54号	令和6年度三島市水道事業会計末処分利益剰余金の処分について	可決
議第56号	令和7年度三島市一般会計補正予算(第4号)	可決
議第57号	令和7年度三島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議第58号	令和7年度三島市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議第59号	令和7年度三島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議第60号	令和7年度三島市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議第61号	市道路線の廃止について	可決
議第62号	市道路線の認定について	可決
議第63号	三島市立北幼稚園のつり輪からの幼児落下事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定について	可決
議第64号	三島市下水道条例の一部を改正する条例	可決
議第65号	三島市議会議員及び三島市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第66号	三島市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第67号	三島市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第68号	三島市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第69号	三島市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第70号	三島市印鑑条例の一部を改正する条例	可決
議第71号	三島市教育委員会委員の任命について	同意
諮第2号	人権擁護委員の推薦について	同意

<賛否が分かれた議案>

議案番号	件名	結果	新風会					改革みしま				新未来21			公明		覚悟の会				日本共産党 議員団		無党派	無党派
			土屋利絵	野村諒子	横山雅人	永田裕二	高田康子	藤江康儀	古長谷稔	沈久美	秋山恭亮	川原章寛	岡田美喜子	宮下知朗	村田耕一	鈴木文子	堀江和雄	弓場重明	石井真人	本間雄次郎	服部正平	河野月江	佐野淳祥	甲斐幸博
認第1号	令和6年度三島市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	退	○	×	×	×	○	○	
認第2号	令和6年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	×	×	×	○	○	
認第3号	令和6年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	×	×	×	○	○	
認第4号	令和6年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	×	○	○	
認第6号	令和6年度三島市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	×	○	○	○	○	○	○	
認第8号	令和6年度三島市下水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	×	○	○	
議第55号	令和6年度三島市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	×	○	○	

※ ○:賛成 ×:反対 退:退席
※ 議長は表決に参加しないため、表決結果は斜線になっています。

主な質疑
質疑 調査の目的、実施に至る経緯は。また、調査の具体的な内容は。
答弁 令和7年6月定例会で上程した「三島市の事務所の位置を定める条例案」の審議の中で、議員から

○交通アセスメント業務委託料 2050万円
旧下田街道について、南二日町広場付近の交通事情の現況を把握するとともに、仮に市役所新庁舎を南二日町広場に整備した場合に予想される交通影響について、調査・分析するための委託を行います。

交通環境等の状況把握やそれに伴う対策を求める意見があったことから、新庁舎整備の基本計画策定段階において実施予定であった本業務を前倒し、実施することとした。
具体的には、①旧下田街道「二日町駅入口」交差点のほか、周辺の交差点を中心に8箇所で交通量調査を行い、②国の基準に基づき、仮に新庁舎を南二日町広場に整備した場合の将来交通変化量を予測し、③現状の交通量に将来の交通変化量を加算し周辺の混雑度がどの程度変化するかを予測、④その予測から将来必要な交通対策の方針を策定する、といった4段階の工程を想定している。



主な質疑
質疑 対象となる事業概要およびこの事業によって得られる効果は。
答弁 今回整備する施設は、重症心身障がい児・者で医療的ケアを必要とする方を対象とした通所施設で、障害者総合支援法による「日中活動系サービス」の「生活介護」と、児童福祉法による「通所サービス」の「放課後等デイサービス」を提供するもので、市町の障がい福祉サービスの利用の決定を受けた方が利用することとなる。

○民間社会福祉施設整備事業費補助金 3673万7千円
医療的ケアを必要とする方への支援の充実を図るため、多機能型の障害福祉サービス施設を整備する社会福祉法人に対し補助を行います。

現在、市内にはこのような通所施設等が極めて少なく、対象の方の利用希望に十分応えることができない状況だが、今回の施設整備事業は、多様化する利用者のニーズに対応するための貴重な機会としてとらえ、三島市の障がい福祉の前進と課題解決に寄与するものと考えている。

9月定例会最終日に提出された「公共施設内での労組加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情」は総務委員会に付託され、閉会中に審査を行うこととなりました。

委員会に付託

人事議案に同意
【教育委員会委員】 草間 路代氏

令和7年
9月定例会
9月5日～10月2日
会期:28日間

■今回の議案は…
市長提出議案 29件
(報告案件2件を含む。)
議会提出議案 1件

このページでは次の項目を
Pick up!

Pick up 1
〈議第56号〉
【令和7年度三島市一般会計補正予算(第4号)】(全会一致)
■補正予算額
7億4,550万1千円

【その他歳出の主な内容】
○移住就業支援補助金
1,000万円
○感染症予防事業
2,641万5,000円
○店舗魅力アップ改修事業費補助金
240万円
○市道維持修繕事業
5,000万円
○谷田幸原線建設事業
1億3,980万円
○一般橋梁整備事業
△7,196万円

Pick up 2
〈陳情第4号〉
公共施設内での労組加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情

すべての議案と結果などの詳細は、三島市議会ホームページでご覧いただけます。

三島市議会 検索



高田 康子
(新風会)



三嶋大祭りのふるさと納税観光としての活用

Q ふるさと納税で、三島の歴史・文化の資源を活用して、三嶋暦やプレゼント型返礼品にできないか。

A 三嶋暦をふるさと納税返礼品として取扱うことは、三島の歴史・文化を発信するうえで、意義を持つものと考えており、実現に向け協議を進めていく。また、プレゼント型返礼品についても、今後さらに充実を図っていききたい。



小冊子、通いの場マップの有効活用は

Q 高齢者外出支援として、運転免許証返納者へ高齢者運転免許返納支援補助券とともに通いの場マップを一緒に渡してはどうか。

A 高齢者運転免許返納支援補助券と併せて通いの場マップを提供することにより、公共交通機関の利用促進と地域住民との交流機会の増加につながることを期待できるため、関係部署と連携し当該マップの配布を実施していく。

他の質問事項
頼朝行列の頼朝役に女性を起用する可能性は



野村 諒子
(新風会)



放課後児童クラブの利便性の向上と環境改善

Q 保護者の就労条件は、通勤も含め午後1時から3時間以上とあり、勤務終了時間が午後2時、3時では利用できない。改善できないか。

A 条件の緩和については、待機児童の発生につながるのではないよう慎重に検討していく必要があるが、施設の拡充や一層の支援員確保を図りつつ、他市町の状況を参考にしたり綿密なシミュレーションを行ったりするなど、調査・研究を進めていく。

Q ークラブ40人の定員では、夏期や雨の日の居場所として適切な環境とは言えない。学校の図書室や体育館等を空室時に利用できないか。

A 現在においても体育館を放課後児童クラブの児童が利用している学校はあるが、本市の放課後児童クラブが一層子どもたちの快適な居場所となるよう、引き続き、学校の協力を得ながら、図書室や体育館のさらなる利用拡大を図っていく。



本間 雄次郎
(覚悟の会)



三島駅南口東街区再開発事業

Q 建設されるホテルの必要性の判断のため、三島駅西街区の東急ホテルの事業効果確認をすべきと考える。どのようなチェックをしているか。

A 市内の宿泊客数は、3年連続で過去最多を更新する見込みで、宿泊需要は好調を維持しており、西街区においても客室稼働率は好調と捉えている。広域観光交流拠点として、ツーリストラウンジも設置されており、公募時の要求水準を一つ一つチェックしている。

新庁舎整備事業における大場川氾濫リスクは

Q 平成10年、大雨による大場川氾濫が起き、警察署横も河岸浸食が起きた。その上で、新庁舎を南二日町に移転するリスクはないか。

A 浸食の原因とされる河床洗堀の解消対策や、のり面を保護し崩壊を防ぐ対策は県が既に実施済みである。この対策により、平成10年以降、集中豪雨による護岸浸食被害はなく、南二日町広場周辺における護岸被害リスクは既に改善がされているものととらえている。



他の質問事項
新庁舎整備事業の計画修正の可能性は



古長谷 稔
(改革みしま)



伊豆ファン倶楽部の再構築と持続可能性

Q アプリ利用が広がらない現状を踏まえ、持続・自立を目指して仕組みの再構築が必要と考えるが、市の見解と今後の方針を伺う。

A 伊豆ファンコミュニティを設立し、調達資金で特産品を開発し、ECサイトでの販売などで収益安定化を目指す。中長期的には伊豆ファン倶楽部ブランドを確立し、ロイヤリティ収入を得る仕組みも計画しており、事業の財政的自立と地域経済への貢献を強化する。



高齢者が負担なく自宅担保で耐震化できる制度

Q 本年9月より導入した高齢者が自宅を担保にすれば無利子で耐震化できる新制度について、対象戸数を踏まえた導入の意義を伺う。

A 耐震改修利子補給制度の「リバース・60」は手元の資金がないなどの理由から、自宅の耐震改修に対して後ろ向きであった高齢者の利用が期待される制度である。令和7年度末の耐震性のない木造住宅は約二千戸と推計され、これらの方々の制度利用が期待される。



沈 久美
(改革みしま)



父母の離婚に直面した子どもの数の捉え方は

Q 本市はひとり親家庭割合が全国平均を下回っているものの、父母の離婚を経験した子は少なくない。その数をどのように捉えているか。

A 父母の離婚を経験したこどもの正確な人数は把握していない。しかし、離婚に伴う環境の変化に直面することで経済的、精神的な困難を抱える可能性が高くなることが推察されるため、こどもの利益を最優先する視点を持ち、寄り添った支援が必要であると考えている。

77年ぶりの改正民法施行に向けた対応準備

Q 離婚後の共同親権や親子交流を含む改正民法施行準備として、「こどもまんなか」についての市独自のわかりやすい資料作成の予定は。

A 離婚後の家庭支援として市独自の「こどもまんなか」資料を作成することは、親自身が大人ファーストになりがちな考えや気持ちを整理し、こどもを第一に考え、こどもの心理的なケア等を考えるきっかけにつながると考えられるため前向きに検討していきたい。



他の質問事項
地域連携による持続可能なラジオ体操の実施は



弓場 重明
(覚悟の会)



『市長、本当に市庁舎、南二日町で良いのですか』第3弾

Q 市庁舎移転により市街地の人通りが減って、街並みが寂れる。活性化が損なわれて商店街の空洞化が起これと考えるが見解を伺う。

A 新庁舎整備は本市の飛躍的な発展につながるまちづくりの好機と捉えている。現在、跡地の利活用を軸とした、まちなか賑わいづくりビジョンの策定準備を進めており、さらなるウォークアブルで多くの方々にぎわう魅力的なまちなか、中心市街地の活性化につなげていく。



Q 市役所の駐車場はいつ行っても混んでいるという10年前の話を今でも耳にする。年に数回の混雑時に周辺のミニ駐車場の活用ができないか。

A 本庁舎63台分の駐車場は週明けや週末、年度末・年度始などの混雑時等において、近隣のミニ駐車場の場所や利用方法の案内等が煩雑となるため提携、契約することは難しい。そのため、これまで同様に市営中央駐車場を案内し、利用時間分の免除で対応する。

他の質問事項
三島市総合計画の未来図再構築の可能性は



横山 雅人
(新風会)



ピロリ菌検査

Q 中学2年生の貧血検査で採血した血液を使ってピロリ菌検査を追加してはどうか。

A ピロリ菌感染が胃がんのリスクを高めることは既に表示されているが、小児領域のガイドラインでは学校単位のスクリーニング検査について慎重な立場を示している。将来的な導入は、国や学会の提言、他市町の実施状況を注視し、総合的に検討しながら調査・研究する。

駅伝・マラソン大会の新規開催

Q 本市が旗振り役となり、近隣市町が連携した広域での新規の駅伝・マラソン大会開催を検討する協議会を設置してはどうか。

A 現在、本市が旗振り役となり広域ウォーキングイベントを実施している。まちのにぎわいづくりのため、スポーツの持つ力を活用する広域のスポーツイベントは大変意義のあるものと考ええる。他の自治体の実例や協議会の設置も含め、調査・研究していく。



他の質問事項

長伏公園再整備



土屋 利絵
(新風会)



新庁舎建設事業費のための市債を減らしていくために

Q 人口減少が進む中、新庁舎建設などの大型事業が待ったなしで始まる。事業費の上限設定の必要性について伺う。

A 庁舎建設事業費の上限については確定はしていないものの、現在示している長期財政計画計上額として考えている。今後、工法等も含めコスト縮減を図り、都度必要な時期に議員にも説明し、事業を推進していく。



Q 可能な限り市債を少なくすることができるよう、基金の積み立てを積極的に行うことが必要と考えるが、見解を伺う。

A 新庁舎は長きにわたり使用する公共施設であるため、起債を活用し、残る財源に庁舎建設基金を充てる。現在、基金積立額は約18億5千万円だが、今後諸事業を見直すなど取捨選択のもと適正な財政運営を展開し、できる限りの財源を捻出し、基金積立に努める。

他の質問事項

人件費を減らしていく必要性は



岡田 美喜子
(新未来21)



三島駅北口周辺の交通混雑緩和のために

Q 三島駅北口ロータリー周辺の夜の渋滞解消に向け、調査状況を踏まえた短期・中期の具体的対策内容など今後の方針を伺う。

A 北口ロータリーの交通混雑解消に向け短期的対応として、令和7年度、北口広場の西側市道に停車帯を設置する工事を行う。中期の対応としては、南口駅前広場の改修完了後に北口広場の改修ができるよう調査や設計など準備を行っていききたい。

小中学校の空調設備の早期実現

Q 学校体育館の学習環境と避難所機能を踏まえ、猛暑対策として空調設置が求められる。可能性調査の結果を考慮した整備方針を伺う。

A 体育館への空調設置は急務であると考えているため、国交付金の対象期間である令和15年度までの計画的な整備を念頭に置きつつ、断熱性確保工事等について、より安価かつ効果的な手法の検討を行いながら、令和8年度から順次中学校分の実施設計を進めていく。



他の質問事項

発明クラブ等のものづくりによる次世代育成



河野 月江
(日本共産党議員団)



認め合い支え合う多文化共生のまちづくりを

Q 国籍や民族、文化が異なる市民が、認め合い支え合いながら共に暮らしていけるまちづくりを進める上で、市の基本姿勢を伺う。

A 本市は、国籍に関わらず公平な立場で全ての市民を支援することを基本姿勢としている。今後も、市民や国際交流協会などの関係団体との継続的な意見交換と情報提供を通じて、常に検証・改善を行いながら、多文化共生社会の実現に向けた施策に取り組む。



Q 外国人市民との共生施策を計画的・系統的に進めていくための三島市多文化共生推進プラン策定の必要性と策定への見解を伺う。

A 三島市多文化共生推進プランの策定については、他市町の取り組みを参考に、外国人市民の増加状況や地域ニーズを踏まえ、必要性和実現可能性を総合的に判断し、将来的な策定も視野に調査・研究を進める。

他の質問事項

ついに総事業費283億円となった駅前再開発事業



鈴木 文子
(公明)



「あかちゃんのへや」で搾乳できる取り組み

Q 「あかちゃんのへや」に「搾乳できます」のロゴマークの入ったステッカーを掲示し、安心して搾乳できる環境を整えられないか。

A 母子の健康を守り、子育て家庭が安心して生活できる環境をさらに整備するため、お母さん一人でも気軽に利用できるよう、搾乳できることの表示を行い、社会全体で搾乳に対する知識や理解が深まるよう努めていきたい。



子育て部分休業制度

Q 障がい児は学年が上がっても親の支援が必要である。市職員の子育て部分休業を子どもが満18歳の年度末までを対象としてはどうか伺う。

A 子育て部分休業制度は、既存の部分休業制度の拡充となることから、業務量の増加が見込まれる他の職員の理解や協力を求めつつ、障がいのある子どもを育てる職員への勤務時間の配慮により、介助や通院などをする際の働き方について選択肢を増やせるよう検討する。

他の質問事項

防災・減災対策



甲斐 幸博
(無会派)



小中学校体育館の空調設備設置

Q 猛暑が続く中、子どもたちの命を守るため、空調設備設置による熱中症対策を優先順位を上げて取り組む必要があるのではないか。

A 体育館は教育現場のみならず避難所としての役割もあり、空調設置は優先課題であると考えている。国交付金の対象期間である令和15年度までの計画的な整備を念頭に置きつつ、令和8年度から、順次中学校分の実設計を進めていく。



子どもや若者に関する問題解決の取り組み

Q 子どもや若者を支援する総合窓口をつくり、総合的に相談・支援を行うワンストップでの対応ができる体制を構築してはどうか。

A 現状では、青少年相談室及び子ども家庭センターがその機能を果たすことで支援に努めていきたくと考えているが、将来的には、こども家庭センターに、子ども若者支援機能を加えた一体的な総合窓口を設置することを見据え、先進市の状況を調査研究していく。

他の質問事項

老朽化した水道管の撤去・交換の計画



村田 耕一
(公明)



小中学校体育館への空調設備の方式

Q 調査結果の整備費は断熱工事を含め9500万円だが、京都府八幡市の実績から対流式と輻射式を合わせた方式で5200万円にて可能ではないか。

A 整備費9500万円は、空調設備設置可能性調査で示された屋根と窓への断熱工事及び一般的に安価とされている対流式による空調を設置した場合の概算費用であるが、対流式と輻射式のハイブリッド方式によって、より安価な導入が可能であれば、検討の必要があると考える。

要介護認定における認定調査の期間短縮

Q 要介護認定申請後の認定調査が約1か月待ちと聞く。調査員の負担を軽減したうえで、待ち期間を短縮できる方法はないか。

A 令和7年度は、要介護認定の新規申請が見込みより多く、調査までに時間が掛かっている。今後、認定調査の指定市町村事務受託法人への一部委託が開始されるため、調査できる件数が増えることから、調査までの期間は徐々に短縮されると見込んでいる。



他の質問事項

子どもを持つことに対する若者世代の考えは



佐野 淳祥
(無会派)



しゃぎりお土産によるシティプロモーション

Q 太宰治も書いた踊り屋台や山車しゃぎりによる伝統文化。かねやバチ、笛のミニチュアフラットを三島のお土産として支援できないか。

A 三島のお土産として、しゃぎりをPRすることは、シティプロモーションに大変寄与すると考えており、今後、新たなしゃぎりに係るお土産品の開発や、既存の土産品のPR方法等について、関係者と協議・研究をしていく。



三島駅南口周辺の自転車専用通行帯の安全は

Q 同自転車専用通行帯は今後実施予定の駅前ロータリー改修と再開発の影響で状況悪化が懸念される。通学・通勤する自転車利用者の安全対策を伺う。

A 同自転車専用通行帯における通学・通勤する自転車利用者の安全対策として、関係機関と連携し駐車状況調査し、違法駐車が確認された場合は、警察による定期的な取締りを依頼する。また、市の広報などを通じて駐車危険性について周知を図る。

他の質問事項

継続が懸念される伝統文化・踊り屋台の支援



秋山 恭亮
(改革みしま)



子育て支援自動販売機設置

Q 飲料に加え紙おむつや生理用品などを扱う子育て支援自動販売機を、長伏公園をはじめ、子育て拠点に導入してはどうか。

A 子育て家庭にとっては大きな利便性や安心感につながることに、シティプロモーションの観点からも期待できるため、長伏公園内の設置について関係課と調整を図っていく。またニーズや利用状況を見ながら、その他施設の設置拡大も検討していきたい。



災害廃棄物の収集運搬に関する協定見直し

Q 現在の協定では災害廃棄物の収集運搬は廃棄物組合が原則無償で行うこととなっている。協定を見直し、有償としてはどうか。

A 災害廃棄物処理における円滑かつ持続的な協力体制を確保するため、国の補助金等を活用し、委託契約を締結して有償で業務を実施していただくよう、費用負担の在り方など協定内容の見直しを進めており、令和7年度末までに新たな協定の締結を考えている。

他の質問事項

三島市の地方創生に関する政策・事業



石井 真人
(覚悟の会)



市長は、なぜ市民説明会に参加しないのか

Q 新庁舎の市民説明会に、市民が市長の出席を求めている。3回残っているが、市長は、なぜ出席しないのか。

A 今回の説明会は、副市長を部会長とする新庁舎整備推進特別部会においてさまざまな検討を重ねまとめた基本構想の内容を説明する会であることから、部会長である副市長が質問に答えるべきとの判断のもと、副市長を筆頭とする担当職員にて対応している。

若年層にも切れ目のない支援体制の整備を

Q 中学校卒業のタイミングで、不登校の生徒に対して、市は教育委員会と福祉部局が連携してサポートをする体制を整えているのか。

A 複合的な問題を解消するため、年齢や属性を問わず切れ目のない包括的な支援体制の充実に向け、国が進める重層的支援体制の整備を進め、福祉事務所と教育委員会の情報共有や連携を強化し、相談者に継続的な伴走支援する体制の構築を計画している。



他の質問事項

中長期的に子どもを見守る体制の構築を



服部 正平
(日本共産党議員団)



再生可能エネルギー拡大に向けた課題

Q 市が保有する再生可能エネルギー設備は、太陽光発電設備10基のみ。再生可能エネルギーの拡大への課題は何か。

A 太陽光発電は、設置に多額の費用がかかること、耐用年数が短いこと、リサイクル技術が普及していない等の課題が多く、整備が進まない状況にある。施設の大規模改修時や建替え等の機会を捉え、新しい技術を含めた再生可能エネルギー設備の導入を検討していく。

みみサポみしま事業の推進に向けて

Q 40代からを対象とする新規のみみサポみしま事業は市民の健康増進に寄与するものである。今後、推進にどう取り組むか。

A 令和8年度以降においても、正しい知識の啓発を推進するため、引き続き聞こえの相談会や受診勧奨を行うことで本人の自覚を促し、早期発見・早期介入に繋げていくとともに、加齢性難聴の方に対する一体的な支援について、効果的な支援体制の構築を進めていく。



永田 裕二
(新風会)



給食での食品ロス削減と児童生徒の喫食環境

Q 給食時間は、子どもたちにとって仲間と交流を深める大切な時間でもあるが、実際に食事をするのに十分な時間が確保されているか。

A 小学校は、配膳から片付けまでを約45分(喫食30分)、中学校は約35分(喫食20分)で実施している。文部科学省も適切な時間の確保を求めている。その取り組みとして、昼の放送番組を流すなど、児童生徒が喫食時間を意識できるよう、各校で工夫している。



本庁舎駐車場の混雑時の対応

Q 守衛による対応では間に合わないような混雑状況時の職員による応援体制について、具体的な連携方法など伺う。

A 本庁舎駐車場は、通常守衛が案内しているが、週明けや週末、年度末・年度始などの混雑時において守衛のみで対応しきれない場合、公共財産保全課の会計年度任用職員2名が対応している。それでも対応しきれない場合は、さらに正規職員が対応している。

視察報告



三島市が抱えるさまざまな課題を調査するため、委員会で先進地を訪問し、視察研修を行いました。

先進地に学ぶ

議会運営委員会 8/19～20

議会基本条例の検証、議会改革及び市民参加の取組

—愛知県犬山市—

議員の意識向上やレベルの高い議論を行うことを目的に、議員間討議、正副議長の立候補制、市民との意見交換の実施、情報公開・情報発信の促進などを行っている。

平成23年10月に犬山市議会基本条例を制定し、平成29年には議会基本条例の検証と同時に、市民が直接議会に声を届ける市民フリースピーチ制度を導入した。令和元年以降もタブレット端末の導入、通年議会、政治倫理条例の制定、ハラスメント防止等にも取り組んできている。併せて、これまでの取組の検証・見直しを行い、市民フリースピーチは高校生との意見交換や女性議会、親子議場見学会の実施などへ見直しを図った。

議会改革、議会活性化の取組

—三重県いなべ市—



議会が取り組むべきものを重要度、緊急度の観点からマトリックス図で可視化し、いなべ市議会行動計画を制定した。次に、議会基本条例の検証方法として成熟度評価モデルを用い、16の確認項目に基づき行動計画を自己評価している。また、全国で二番目となる地方議会成熟度評価モデルの第三者評価も実施している。さらに、事業評価からの政策サイクルにつなげるため、事業評価の後、議会での意思決定を行い、執行機関に提出している。議案審議強化のため議案勉強会や、議会終了後の全員懇談会振り返りも実施している。加えて、議案に対する市民意見の聴取や情報発信などを行い、市民参加の取組も進めている。

経済建設委員会 7/22～24

福山駅前再生ビジョン

—広島県福山市—

車中心から人中心のまちづくりへ転換するため、市民参加を重視し、産官学金が連携。リノベーションスクールでは新事業創出と地価12%上昇という成果を生み出した。また、旧商業施設を公共機能を持つ複合施設へ再生して回遊性を高め、中央公園には中四国初のPark-PFIを導入。図書館と連携したにぎわいを創出している。これらのプロジェクトを通じ、多様な世代にとって暮らしやすいエリアへの再生を目指している。

空き家対策

—滋賀県東近江市—

空き家バンクの運営を専門家が参画する一般社団法人へ移管し、透明性と対応力を強化。所有者の多くが「何をすべきか分からない」との実情から、ワンストップ相談窓口を開設している。県の補助金も活用し、特定空家の除去や改修に対する手厚い補助制度を設けており、空き家バンクは移住推進に貢献する一方、現場からは所有者の責任意識の希薄化が深刻で、公費による対策には限界があるとの厳しい見方もあった。

バイオマス資源の利活用

—愛知県豊橋市—

PFI方式(BTO)による「バイオマス資源利活用事業」を実施している。中島処理場に国内最大規模の施設を整備し、下水汚泥、し尿、市民が分別した生ごみなどを集約。これらをメタン発酵させてバイオガスで発電し、発酵後の汚泥も炭化燃料に加工することで、バイオマスを100%エネルギー化している。

福祉教育委員会 8/4～6

柳ヶ瀬子育て支援施設ツナグテ

—岐阜県岐阜市—

「ツナグテ」は、子育て支援とにぎわい創出を目的に令和5年に開設された。来館者数は月平均1.4万人超だが、周辺への波及効果が限定的などの課題がある。令和8年度からの指定管理者制度導入で、民間ノウハウによる魅力向上や地域連携強化、運営効率化が期待されている。

ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

—大阪府枚方市—

ひきこもり等子ども・若者相談支援センターは、15～39歳の若者を対象に相談・居場所づくり・家族の会を柱として支援している。こども家庭センターとの連携や子ども・若者支援地域協議会における情報共有により、切れ目のない支援体制を構築している。

小中学校体育館への空調設備導入

—京都府八幡市—

令和元年度から、毎年2校程度の小中学校体育館に空調を設置している。当初エアコンとファンの方式であったが、騒音や効率の観点からエアコンと輻射式パネルの方式へ変更し、床面付近を静かに効率よく冷やすとともに、ランニングコスト削減を図っている。また、災害対応でLPガスを採用している。

結婚支援事業

—愛知県小牧市—

小牧市は令和5年に「出会い結婚支援室」を新設。婚活イベント・結婚相談・ライフデザイン教育を民間業者に一括委託し、行政主導で出会いから相談までを支援している。イベントと相談を有機的に連携させ、オンライン相談や高校生向けセミナーも実施している。

総務委員会 7/22～24

新庁舎の整備

—福島県会津若松市—

歴史的建造物である旧館を一部保存しつつ、地上7階建ての新庁舎と一体化し免震化を行った。設計段階から施工予定者が参画するECI方式を導入することで、コスト抑制と品質確保の両立が図られていた。

AI案内システムの試験導入、マイナンバー連携による窓口簡素化など、デジタル技術を積極的に活用していた。多目的スペースや防災拠点化など、地域連携を強化しまちづくりの拠点を市民と作り上げていく姿勢は参考になった。



新庁舎の整備

—栃木県鹿沼市—

東日本大震災を機に新庁舎整備事業を開始、令和2年2月からの1期工事、令和3年9月からの2期工事を経て令和5年5月に新庁舎が開庁した。「市民、文化、歴史を未来につなぐまちづくりの拠点」をコンセプトに、防災拠点としての機能を備え、ライフサイクルコストの削減を追求しながらも、地域資源を活用し「木のまち鹿沼」をアピールした庁舎となっている。

DX戦略計画、行政DXの取り組み

—栃木県真岡市—

デジタル技術の活用によりアナログの価値を高め、真岡市の魅力を最大化させるため、令和4年3月にDX戦略計画を策定した。来させない・待たせない・書かせない市役所の実現のため、本人確認証を活用した「かんたん窓口システム」を導入している。また、DX人材育成基本方針に基づく市職員の研修プログラムを実施し、DX推進リーダー100名の育成を目指している。

議会だより編集委員会

委員長：沈 久美
副委員長：本間 雄次郎
委員：高田 康子
宮下 知朗
村田 耕一
河野 月江
甲斐 幸博

議会だより令和7年8月1日号掲載内容の訂正について

P-7 予算決算委員会について誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

誤：副委員長 甲斐 幸博
正：副委員長 土屋 利絵

なお、ホームページ上に掲載されているデータは修正済みです。

11月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
23	24	25	26	27	28	29
			本会議 (議案審議)			
30	12/1	2	3	4	5	6
					本会議 (一般質問)	
7	8	9	10	11	12	13
		本会議 (一般質問)		本会議 (一般質問予備日)		
14	15	16	17	18	19	20
	本会議 (議案審議)					

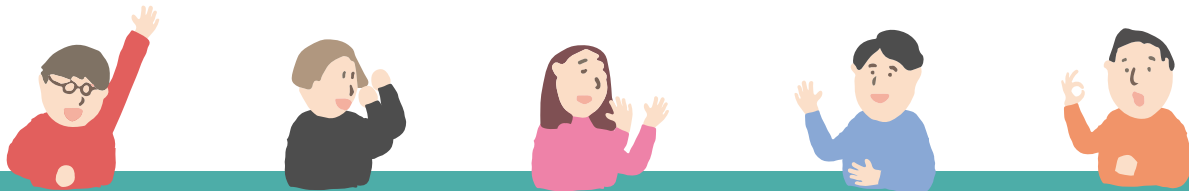
本会議は午後1時に開会する予定です。日程は変更になる場合があります。

議会の活動

7月 8日 議会報告会運営会議
11日 静岡県市町議会議員研修会
15日 議会運営委員会
各派代表者会議
22～24日 総務委員会行政視察
経済建設委員会行政視察
31日 東部地区6市4町議会議長連絡会
8月 4～6日 福祉教育委員会行政視察
7日 議会報告会運営会議
13日 議会運営委員会
15日 平和都市推進事業街頭啓発事業
19・20日 議会運営委員会行政視察

9月 25日 議会運営委員会
各派代表者会議
26日 議会報告会運営会議
29日 各派代表者会議
議会運営委員会
9月 2日 議会報告会運営会議
5日～10月2日 9月定例会
5日 各派代表者会議
本会議(議案審議)
予算決算委員会
議会だより編集委員会

10・11日 経済建設分科会(決算審査)
12・16日 福祉教育分科会(決算審査)
17・18日 総務分科会(決算審査)
24・25・26・29日・30日 本会議(一般質問)
25日 各派代表者会議
議会運営委員会
30日 予算決算委員会
10月 2日 本会議(議案審議)
3日 議会だより編集委員会
議会報告会運営会議



議会報告会2025

あなたの声^①が聞きたい

三島市議会の活動報告と、意見交換会を開催します。下記の3会場とホームページからの2つの方法で、意見の募集を行います。市民の皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。



共通テーマ：議会基本条例の検証

「議会基本条例」とは、議会活動の原則など、議会の基本的な事項を定めた条例です。三島市議会は平成31年にこの条例を制定しました。議会運営委員会では今年度、この条例に沿った議会の取り組みの検証を行っていますので、その内容をお知らせし、ご意見を伺います。

個別テーマ

総務班

**市役所にこんな機能が
あったらいいな**
～新庁舎を市民とともに～

今後基本設計を進める中で庁舎機能は市民サービスにおいて重要です。そこで、建設事例として行政視察した会津若松市と鹿沼市の庁舎機能について報告しご意見を伺います。

11月8日(土)
10時～11時30分
会場 錦田公民館

経済建設班

**「自分ごと」として考える
空き家対策**
～所有者意識の醸成と利活用～

あなたのまちにもある空き家。放置すれば迷惑のもとですが、管理によっては地域の貴重な拠点にも。先進地・東近江市の取り組みを参考に三島の空き家を自分ごととして考えてみませんか。

11月9日(日)
14時～15時30分
会場 北上公民館

福祉教育班

**どんな応援があったら
嬉しい？**
～ハッピーマリッジ事業～

当市でも開始した「ハッピーマリッジ事業」。結婚に関する多様な価値観を大前提に、若者の結婚・子育ての希望を後押しする事業です。他市の先進事例にも触れながら、事業の方向性やアイデアをともに考えましょう。

11月12日(水)
19時～20時30分
会場 中郷公民館

会場で

会場準備の都合上、参加申し込みをお願いします。申し込みは、右の2次元コードから登録していただくか、**議会事務局 (055-983-2600)** までご連絡ください。
※当日の飛び入り参加も可能です。

参加申込は
こちらから！



ホームページで

ホームページ上での意見募集を行います。
説明動画(10月17日～11月14日配信)をご覧の上、
ご意見をお寄せください。

詳細は三島市議会
ホームページで
議会報告会に関する情報を
随時更新していきます。

